

暖

D A N

ご自由にお持ち帰り
ください

2022.Autumn
No.1



Contents

ごあいさつ

がん診療について

がん相談支援センターが設置されました

専門診療のご案内

耳鼻咽喉科・頭頸部外科とは
どんなことができるの？

救急医療

救急科ではどんなことをしているの？

お知らせ



中核医療センター・地域医療支援病院

霧島市立医師会医療センター

第六波までで収束してほしいと思っておりますが、コロナ禍の第七波は若年患者数の爆発的増加になり、本稿記載時点では夏休みあけの状況が想像できません。本年二月からのロシア軍のウクライナ侵攻も終息は見えず、両者による世界経済の打撃は相当なものになっていきます。

そのような中でも、当院の新築移転計画は着々と進み、九月下旬に起工式を予定しております。敷地内全ての整備は二〇二七年までかかる予定ですが、病棟や外来は二〇二四年一〇月開院を目指しています。狭い、古い、プライバシー確保が難しいなどの建造物問題は速やかに解決できると思っています。病院正面入口に設置した新病院の模型をご覧ください、楽しみに待っています。

一方、救急対応の充実や待ち時間短縮につきましては、構造だけでなく職員数不足も原因ですので、引き続き霧島市等の理解を得ながら、職員数の増加と各作業の効率化に努めてまいりますと存じます。応援していただけますと幸いです。



ご相談・お問合せ先

病院玄関内のがん相談支援センター受付

または Tel:080-1605-7469 (専用、直通)

受付時間 月～金曜 10:00～16:00 (土日祝日、年末年始除く)

FAXやメールでのご相談受付は現在準備中です。

ご相談は、がん相談支援センターに直接お越しいただくか、電話でお話を伺う方法があります。できるだけ事前に予約しておくことをおすすめします。また、ご相談の内容によりましては、後日改めて日程の調整を行う場合もございます。

資料やパンフレットなどの準備もございますので、気軽にご利用下さい。



がん交流 サロン のご案内

当院ではがん交流サロンとして、院内外の患者さん、ご家族の方が、ともにそれぞれの経験を語り合ったり、知りたいと思う情報に触れる場を設けています。看護師・薬剤師・公認心理師・ソーシャルワーカー等の多職種が会に参加し、疑問に思ったことや困っていることにお答えしています。

予約は不要ですのでお気軽にお立ち寄りください。

*今後の予定の問い合わせはがん相談支援センターまで、または病院ホームページでご確認ください。

がん診療について



がん相談支援センターが設置されました

2022年6月、霧島市立医師会医療センターに「がん相談支援センター」が設置されました。

「がん相談支援センター」とは、全国に設置された、がんの相談窓口です。

がんになると担当医による診断治療が始まり、下の絵のように様々な苦痛や不安がのしかかってきます。そんな時にひとりで悩まず、相談を聴いてくれたり、サポートしてもらえると心強く安心できます。

経済的負担や支援について

- 活用できる助成・支援制度、介護・福祉サービスを知りたい。
- 介護保険の手続きを知りたい。
- 仕事や育児、家事のことで困っている。

がんの予防や検診について

- がん検診はいつ、どこで受けられるか。
- がん検診で再検査の通知が来て、不安でたまらない。

医療者とのコミュニケーション

- 担当医の説明が難しい。
- 医療者に自分の疑問や希望をうまく伝えられない。
- 何を聞けばよいかわからない。



検査・治療・副作用

- 自分のがんや治療について詳しく知りたい。
- 担当医から提案された以外の治療法がないか知りたい。
- セカンドオピニオンを受けたいが、どこに行けばよいか。

患者さんやご家族の心のこと

- 気持ちが落ち込んでつらい。
- 思いを聞いてもらいたい。

療養生活の過ごし方

- 治療の副作用や合併症と上手に付き合いたい。
- 自宅で療養したい。



社会との関わり

- 病気について、職場や学校にどのように伝えればよいか。
- 仕事を続けながらの治療はできるか。

緩和ケア

- 地域で緩和ケアを受けられる病院はあるか。
- 治療を続けながら緩和ケアを受けるにはどうしたらよいか。

当センターではがんに関する治療や社会復帰、療養生活全般、地域の医療機関などについて相談することができます。また治療の有無・通院先にかかわらず、地域にお住まいの方、医療機関なども含めどなたでも無料でご利用いただけます。ご相談の内容に応じて、医療ソーシャルワーカー、公認心理師、専門の看護師（緩和ケア、化学療法、皮膚排泄ケアなど）、薬剤師、管理栄養士など、各分野の専門スタッフで対応させていただきますのでご安心下さい。

とは言っても生活のことや、治療や療養に伴う疑問や不安を誰かに話すことには抵抗があるかもしれません。また、相談した内容が他者に知られてしまうことへの心配もあるかもしれません。ご相談いただいた内容は、あなたの同意なしに他者に知られることはありません。また、匿名でのご相談も可能です。



専門診療のご案内

耳鼻咽喉科・頭頸部外科とはどんなことができるの？

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 医長 井内 寛之

令和四年一月から耳鼻咽喉科・頭頸部外科が常勤となり、四月から二名体制となりました。外来は予約制で月、火、水、金の午前中です。手術は木曜日の午前、午後しています。また、毎週水曜日の午後に補聴器外来をしています。鹿児島市の下田代補聴器センターに来ていただき、新規購入や調整を行っています。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科は頭蓋底より下、鎖骨より上の頸部まで診察する科です。

外来で出来る検査は以下の通りです。

- 耳：標準聴力検査、語音検査、チンパノメトリー、眼振検査、内耳MRI
- 鼻：鼻腔内視鏡、副鼻腔CT
- 咽喉頭：喉頭内視鏡、嚥下機能評価
- 頸部：超音波検査、FNA、頸部CT、頸部MRI

悪性腫瘍に関しては診察、診断（生検、画像検査を含む）まで当科で施行して、鹿児島市の病院に紹介いたします。

手術は主に良性疾患の手術をおこなっています。手術対応可能な疾患は、以下の通りです。

- 耳：慢性中耳炎、先天性耳瘻孔
- 鼻：慢性副鼻腔炎、上顎洞真菌症
- 口腔、咽頭：慢性扁桃炎、口腔腫瘍、中咽頭腫瘍
- 頸部：唾液腺腫瘍（耳下腺、顎下腺）、甲状腺腫瘍、頸部嚢胞

入院での治療が必要で急を要する疾患は、以下の通りです。

- 耳：耳性めまい、突発性難聴、メニエール病
- 鼻：鼻骨骨折、鼻性視神経炎
- 口腔、咽頭：扁桃周囲膿瘍、喉頭蓋炎

以上のように耳鼻咽喉科・頭頸部外科は幅広い分野の疾患を扱う科です。

二〇二二年一月から着任させていただきます。まだ不慣れな点もあり、ご迷惑をおかけするかと思いますが、ご協力のほどよろしくお願いたします。霧島市を中心とした地域医療に貢献できるように頑張りたいと思います。



令和4年4月入職

new staff member

新人 看護師紹介

中材・手術室 新人看護師 山下 天理

手術室では毎日多くの科の手術を行っています。部屋の環境づくりや手術に使用する物品の準備、手術を受ける上で何に気を付けていたら良いのかなど、手術が的確にかつ迅速に行うことが出来るように考えながら働いています。

手術室での仕事は緊張感があり、慣れないことも多いですが、周りに支えてもらいながら、楽しく仕事が出来ています。



救急医療



救急科ではどんなことをしているの？

救急科 医長 原浦 博行

二〇二二年度から当院の常勤救急医が二名体制となり、救急科が本格始動いたしました。平日日中の時間帯のみですが、救急診療を私たち救急医が担当しております。

救急医とはどういうことをする診療科なのかあまり馴染みの無い方も多いと思います。むしろ私たちに関わる時というのは健康が急に脅かされている状況ですので、馴染みが無い方が良いのかもしれませんが。

救急医の役割は大きく分けると「救命処置」「トリアージ」「初期診療」です。

救命処置というのは、テレビドラマやドキュメンタリー番組などよく描写される、バタバタと慌ただしく、激しく声が飛び交い、ヘリコプターに飛び乗ったり、災害現場に赴いたり、というような一分一秒を争う診療現場において、原因の病態、外傷を鑑別しながらも、とにかくまずは救命のために必要な処置、治療を急いで行います。一般的にはこのようなイメージが強いかと思いますが、実際にはその割合はそこまで多くはありません。

実際多いのは「トリアージ」「初期診療」の方です。トリアージというのは、「重症度振り分け」のことで、まず生命の危機が迫っているかどうかを判断し、危ないと判断すれば速やかに必要な救命処置を行います。そして、例えば生命の危機は迫ってはいなくても、患者様の痛みや苦しみがいった訴えをできるだけ早く解消するために、必要な診察、検査、治療などの初期診療を行います。

診断の結果、救急医で治療が完結できない病気・外傷が判明した時は、適切な診療科と連携をとり引き継ぎを行います。

当院は内科系、外科系ともに様々な診療科を



揃えている病院として、ある程度の急性期対応は当院で完結することができますが、やはりそれでも当院では対応しきれない、より高度な専門性の高い医療が必要な際には、鹿児島市内の医療機関へ転送することもしばしばあります。転送には実際の移動時間だけでなく、諸手続きも合わせてそれなりの時間を要してしまいますので、当院で全ての治療を完結できることが究極の理想ではありますが、現実的にはやはり厳しいところです。

今後、新病院開院へ向け、救急医の漸次増員も予定しております。最終的には、私たち救急医が二十四時間体制で救急初期対応を行い、各診療科がそれぞれの専門分野に専念することで、より円滑で迅速な救急医療体制が構築されることを目指しております。

この地域で完結できる医療が少しでも増え、一人でも多くの救命ができるように頑張っていきたいと思っております、よろしくお願いたします。

外来:救急救命士 有村 愛

7年間の消防勤務を得て、6月より院内救命士として勤務することになりました。救急対応では冷静で迅速な対応が求められます。消防勤務で培った救急業務の知識・技術を発揮出来るよう、今後の院内救命士業務の構築を目標に掲げていきます。皆さまに安心して来院してもらえよう、スタッフの一員として頑張っていきます。



外来:救急救命士 山並 晃輔

今年度から救急科が新設され、院内でも救急救命士として初めて勤務する事になりました。自分自身も病院は初めてで右も左も分かりませんが、医師、看護師、救急救命士が連携し業務が行えるよう頑張っていきたいと思っています。救急外来では、搬送されて来られる患者さんの初期評価、バイタル測定を行い、採血の補助や検査等の搬送を行い看護師と連携し安全かつ迅速に業務を行っています。何が起きても臨機応変に対応出来るように考え行動していきたいと思っています。



Information

お知らせ



新病院完成予想図

※ 9月より駐車場の工事が始まります。皆様にはご不便をおかけすると思いますが、その都度ご案内させていただきます。ご協力お願い致します。

Access

- JR 隼人駅より車で10分
- 鹿児島空港より車で10分
- 九州自動車道 鹿児島空港インターより車で10分
- 東九州自動車道 隼人東インターより車で15分
- 日豊本線 鹿児島駅～隼人駅まで35分
- いわさきバス 国分・隼人循環バス・加治木及び鹿児島方面へのバス (医療センター内乗り入れ)



〒899-5112 鹿児島県霧島市隼人町松永3320番地

霧島市立医師会医療センター

TEL 0995-42-1171 (代表) FAX 0995-42-2158

受付時間 8:30～11:00

診療時間 8:30～17:00

休診日 土・日・祝・年末年始